

読書のすゝめ

その3 R2 4 / 9

新任の先生紹介②

松本 一浩 副校長先生



『モモ』 ミヒヤエル・エンヤ

教育心理学の授業で勧められた本の中に『モモ』という児童文学作品がありました。

ファンタジー作品で、日本では根強い人気があり映画化もされたようです。内容は、時間どろぼうに盗まれた人間の時間を取り返してくれた女の子（モモ）の不思議な物語です。当時、私がとても興味をもったのは、相手の話を聴く力について書かれた場面です。モモが話を聴くと、相手は自分でも驚くようなまともな考えが浮かんできたり、自分の意志がはつきりしたり、勇気や希望、自信がわいてくるという描写があります。この作品は、人の話を聴く上で考えさせられることがたくさんあることに気付かされます。心理学（ヘカウンセリング）に興味がある人には、是非読んでみてほしい一冊です。



小林 武志 事務長先生



『海辺のカフカ』村上春樹

以前本屋さんと、新潮文庫おすすすめ100冊コーナーで何気なく手に取った本でした。いままでは、余り興味がない作家でしたが、読みすすると物語の中では、いくつもの謎、不可解なできごとが次々と湧き上がっては過ぎていきます。現実では起こりえない現象を生々しく体感できることに小説を読む醍醐味があります。海外では特に評価が高い作品と言われています。今後ノーベル文学賞をとるかもしれない作家なのでみてはいかがでしょうか！



家なので今のうちには是非読んでみてはいかがでしょうか！
また、ムラカミワールドはそれ以外でも『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』『騎士団長殺し』など独特な世界観の本が多数あります。

大森 奈保先生（1年3組副担任・福祉）



『ドリームバスター』 宮部みゆき

高校三年生、ふらっと入った図書室で出会った1冊です。

自分の見る夢について「どうしてあの状況？」「なぜあの人が？」「ありえない行動だ！」と思うことが多かった私は、タイトルに惹かれ一気に読み終えました。とても有名な作家さんだということは、もう少し色々な作品を読み終えた頃に知りました。知らなかった方が珍しいのかと思います。ですが、宮部みゆきさん本で一番のお気に入りはこの本です。



機会があったら、是非読んで見てください。

廣岩 奈奈先生（農業）



『浮き草デイズ』 たかぎなおこ

三重県から東京へイラストレーターになる為に上京してきた作者のお話です。「夢」を叶える為に上京したはずが、現実が上手くいかないことばかり。生活する事と夢を叶える事とのギャップに苦しみつつも少しずつ前進していく日常がコミカルに描かれています。皆さんの夢はなんですか？この本には、夢を現実にするヒントがあるかもしれません。

